

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1874 号

Transcatheter arterial embolization for angiomyolipoma at renal hilum: A retrospective analysis

(腎門に位置する腎血管筋脂肪腫に対する TAE の有効性の後方視的検討)

井上 達朗 (いのうえ たつろう)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、腎門部に位置する血管筋脂肪腫に対する動脈塞栓術の安全性と有効性を検討した論文である。腎門部に位置する血管筋脂肪腫は、外科的手術では腎盂損傷のリスクを避けるため正常腎実質を含めた腎摘除術を余儀なくされることが多く、腎機能の予後にも大きく影響する。一方で、腎血管筋脂肪腫に対する動脈塞栓術は従来施行されてきたが、腎門部においては血管解剖の複雑性から手技が煩雑になり難渋することが予想された。

本研究において、腎門部に位置する血管筋脂肪腫に対しても良好な結果を得ることができ、腎血管筋脂肪腫に対する動脈塞栓術の位置づけをより強固なものにしたといえる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。